令和８年度

練馬区の就学相談と特別支援学級（中学校）







練 馬 区 教 育 委 員 会

教育振興部 教育福祉課

目　　次

就学相談の流れ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
練馬区の特別支援学級・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
特別支援学級設置校一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
特別支援学級設置学校配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

学 級 案 内

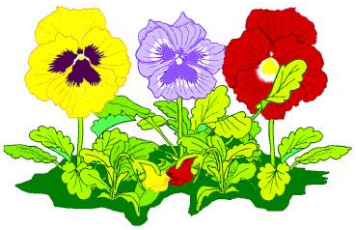
特別支援学級（知的）　　【固定学級】
みらい青空学園（中学部）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
中村中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
練馬中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
光が丘第三中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
石神井中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
南が丘中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
谷原中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
大泉中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

特別支援教室拠点校
豊玉第二中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
練馬東中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
上石神井中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
八坂中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

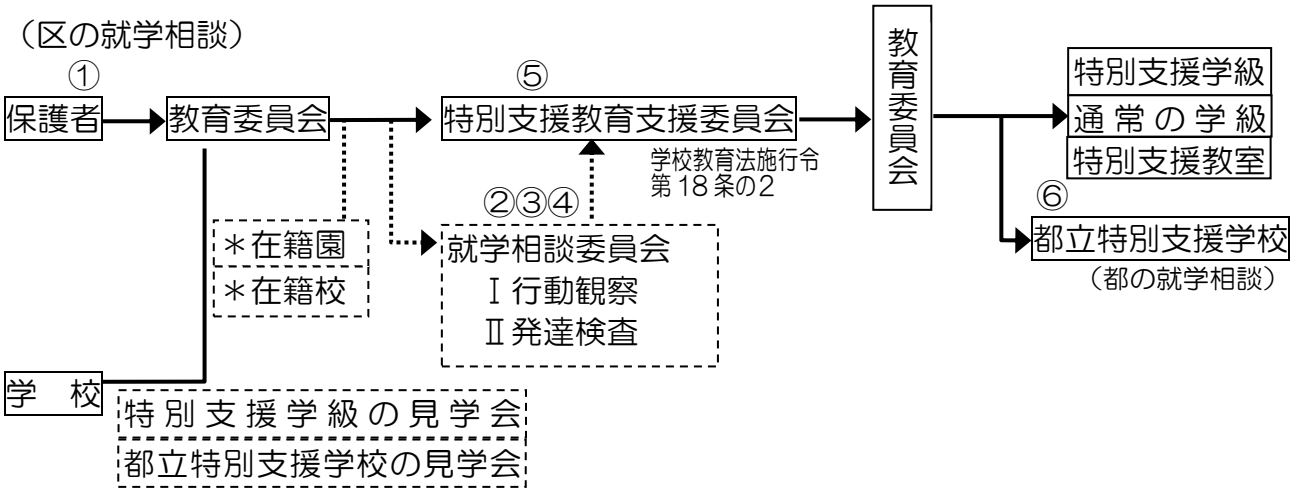
特別支援学級（難聴）　　【通級指導学級】
開進第二中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

特別支援学級（弱視）　　【通級指導学級】
開進第三中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

近隣の国・公・私立特別支援学校一覧・・・・・・・・・・・・・・・・ 24



就学相談の流れ（小・中学校共通）



① 保護者から就学面談を予約していただきます。予約は、Web にて受け付けます。なお、４月～７月に Web 受付期間があります。その後、関係書類（就学支援ファイル等）を郵送しますので、ご記入いただき、ご返送ください。その内容に基づき、就学面談を行います。

② お子様、保護者と面談（就学面談）の上、行動観察、発達検査や成育歴、保護者の意向等を資料にまとめます。また、保護者のご了解を得て、在籍する幼稚園や保育園などから資料を求めます（就学相談委員会）。初回面談後、必要に応じて、医師面談を行う場合があります。

③ 小集団の中でのお子様の様子を観察し、改めて保護者のご意向の確認をするため、特別支援学級、特別支援教室を設置している学校長との面談等（就学相談会）を通して、相談資料をまとめていきます（就学相談委員会）。

④ 相談資料に基づいて検討を行い、お子様にとって望ましいと考えられる就学先について判断し、保護者へ提案いたします。その後、具体的な就学先について保護者と話し合いを進めていきます。（就学相談委員会）。

⑤ 当年度の就学相談の全体的な結果について、審議を行い、就学先が決定します（特別支援教育支援委員会）。

⑥ 区の相談の結果、都立特別支援学校を希望することになった場合、都の就学相談に引き継ぐための関係資料を都に送付します。その後、都の就学相談を受けていただくことになります。

※ 保護者のお考えと異なるご提案の場合は、種々の資料に基づいて十分保護者と話し合いを重ねます。

※ 具体的な就学先（学校名）については、区教育委員会が、特別支援教育支援委員会の判断に基づき、通学上の安全面や負担を考慮し、保護者のご意向を踏まえて相談をさせていただきます。実際には、就学を希望される学級の見学や体験を通しながら決めていきます。

※ 都立特別支援学校（知的障害）につきましては、お住まいにより学区域があり、都立高島特別支援学校または都立石神井特別支援学校になります。都立特別支援学校（肢体不自由）は、都立大泉特別支援学校、都立志村学園（肢体不自由教育部門）になります。

［特別支援教育支援委員会］

お子様に望ましいと思われる就学ができるように、各分野の専門の先生方で構成する特別支援教育支援委員会を設置しています。

（構成員）

◇医師
◇特別支援学級、特別支援教室（拠点校）を設置している学校の校長・教員
◇都立特別支援学校の教員
◇学校教育支援センター相談員
◇福祉・教育施設関係職員（保育園・幼稚園・こども発達支援センター）
◇教育委員会事務局担当（教育指導課・学務課）

就学相談（相談から学校が決まるまでの流れ）〔中学校〕

練馬区教育委員会では、下記の流れにそって就学相談を進めてまいります。相談を進めるに当たっては、お子様の様子をできるだけ確実に把握し、保護者のお考えを大切にしながら行っていきますので、ご協力をお願いいたします。

なお、特別支援学級（難聴学級・弱視学級）については、別途、就学相談係へお問い合わせ下さい。

受　付

◆就学面談日を予約していただきます。

◆なお、4月～7月にWeb受付期間があります。（7月末日まで・先着順）

◆面談日のお知らせとともに、就学支援ファイル・就学相談票・面接票・面接補助票・承諾票等を送付します。必要事項をご記入の上、提出していただきます。

都立特別支援学校をご希望される場合も、初めに練馬区の就学相談を受けていただいてから、東京都の就学相談を受けられるようになります。

就学相談

就学面談

◆個別にお子様の様子を見させていただきます（行動観察、発達検査）

◆保護者面談を行います。

◆保護者のご了解を得て、在籍校等にお子様の日常の様子について所見を求めます。

◆特別支援学級（知的）の見学会のご案内（5月～7月）

＊都立特別支援学校への就学をお考えの方は東京都の相談につなげます。

就学相談会

◆小グループの中でのお子様の様子を見させていただきます。（集団行動や運動面）

◆校長面談（特別支援学級設置校・特別支援教室設置校）を行います。

◆医師面談を行います。

相談の結果を提案します

保護者のお考えと異なる提案が出た時は、保護者と十分話し合いを重ね、就学先を決めていきます。

◆必要に応じて、特別支援学級（知的）や都立特別支援学校の見学や体験についてご案内します。

就学先決定

◆特別支援学級に就学する場合は入級決定通知書を送付いたします。

小・中学校との連携

◆就学支援ファイルを就学先学校に送付します。（任意）

練馬区立中学校の特別支援学級・特別支援教室

特別支援学級（知的）は、中学校８校に設置されている学級です。

特別支援学級は、一人一人の生徒の状態や特性などに応じ、通常の学級とは異なる教育課程で教育を行っています。また、運動会等の学校行事は、通常の学級の生徒と交流を深めています。

特別支援教室は、全中学校に設置されている教室です。

練馬区立中学校には、次の特別支援学級・特別支援教室が設置されています。

（1） 特別支援学級（知的） ８校【固定学級】
（2） 特別支援教室 33 校
（3） 特別支援学級（難聴） １校【通級学級】
（4） 特別支援学級（弱視） １校【通級学級】

特別支援学級（知的） 【固定学級】

特別支援学級（知的）は、知的発達の遅れの状態が比較的軽度の生徒を教育するために設置された学級です。軽度の知的障害とは、日常生活に差し支えない程度に、身辺のことがらを処理できますが、抽象的な思考などが困難である状態のことをいいます。

指導内容

健全な身体づくり、基本的な生活習慣の確立、社会生活に必要な言語・数量などの基礎的な知識・技能・態度を身につけることなどを重視しています。また、宿泊学習をとおして、身近な自然現象や社会事象に対する関心を高め、学校における学習を実際の生活場面に生かせるよう配慮しています。

特別支援教室

特別支援教室は、知的にはそれほど遅れていないのに注意力や集中力が散漫な子、座席からすぐ離れて自分の興味のあるところに行ってしまう子、一つのことにこだわるとなかなか気持ちの切替えができない子、悪気ではないのに友だちとトラブルになりやすい子、学習の一部にだけ落ち込みがある子、おしゃべりは上手なのに書くことや作業能力に課題がある子、情緒的な不安により選択性緘黙の子などが対象になります。通常の学級での集団学習だけでは学校生活に適応が難しい生徒を対象としています。

指導内容

一人一人の生徒にあった指導内容を、個別指導の形で行います。また、集団適応や社会性を身につけるためにグループによる指導もしています。具体的には、失敗経験による苦手意識の克服、生活・学習全般にわたる意欲を育てながら自信を回復できるような学習内容を組んでいます。対人関係や社会性を広げるための学習もします。また、集中力や手先の器用さ等を育てるための作業学習も取り入れています。

特別支援学級（難聴）　【通級学級】

特別支援学級（難聴）は、聴覚障害の程度が比較的軽度の生徒を教育するために設置している学級です。概ね両耳の聴力損失が 100ﾃﾞｼﾍﾞﾙ未満 60ﾃﾞｼﾍﾞﾙ以上で補聴器を使用すれば通常の話声を解するに著しい困難を感じない程度をいいます。あるいは 60ﾃﾞｼﾍﾞﾙ未満であっても、補聴器を使用しても通常の話声を解することが困難な程度をいいます。

指導内容

特別支援学級（難聴）では、残存聴力の活用を図る指導、正しい発音・発語の仕方を系統的に育てる指導、言語の理解力や表現力を伸ばす言語指導、補聴器の適切な扱い方の指導を行っています。

一人一人の障害の状態を把握するために聴力測定、発音・発語の状態、言語の習得状況などについて、諸検査を実施し、専門的な判断に基づき、個別指導をしています。

特別支援学級（弱視）　【通級学級】

特別支援学級（弱視）、矯正視力がおおよそ 0.1 以上 0.3 未満の生徒を教育するために設置している学級です。

指導内容

特別支援学級（弱視）は，生徒一人一人が自分の視力を十分活用して、効果的な学習が行えるよう照明や書見台などに工夫を加えて、見やすい条件を整えています。

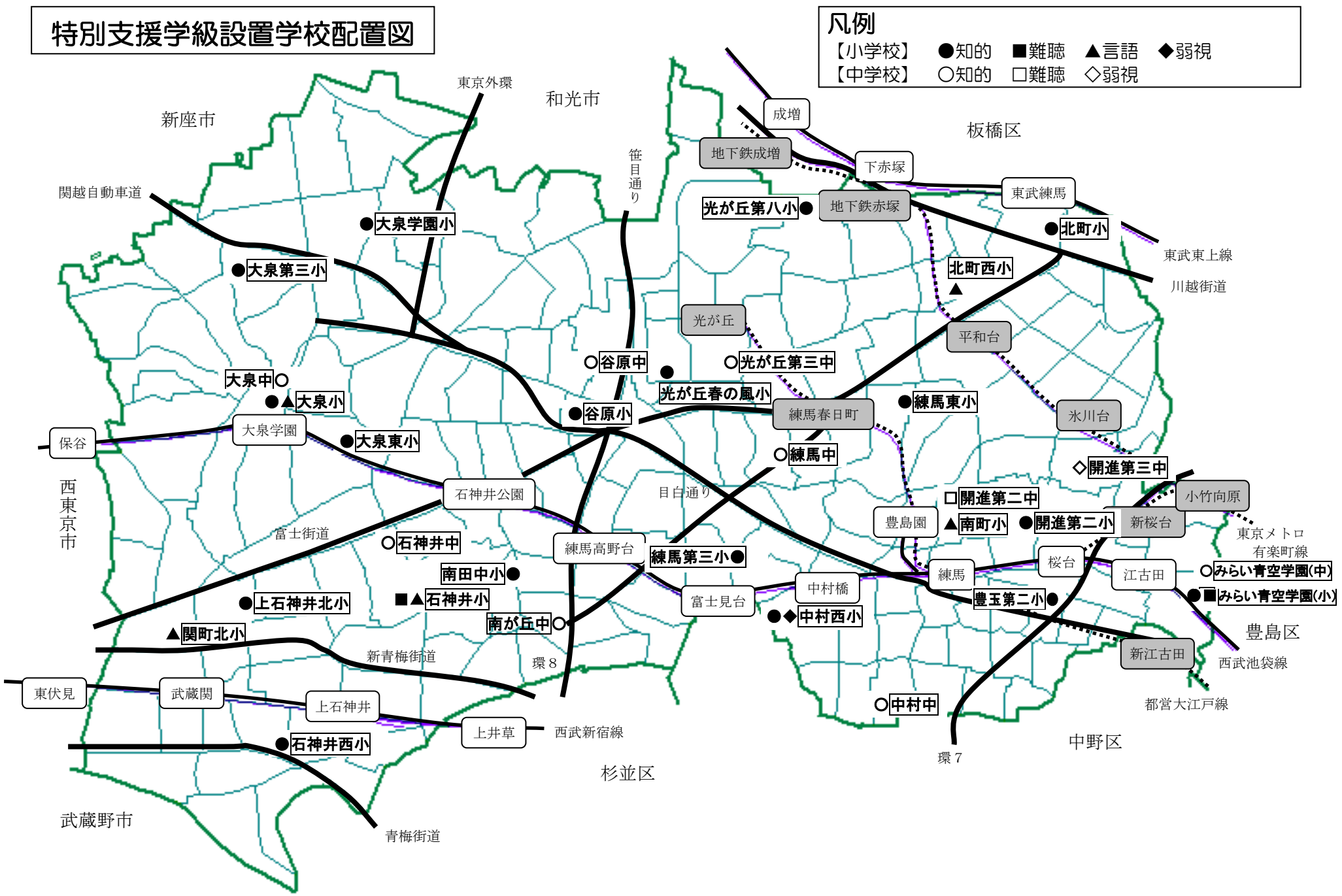
また、上手な見方を育てるために、各種の拡大レンズや教材拡大映像装置などの活用を図っています。

特別支援学級設置校一覧

令和８年４月１日現在

学級名	学校名	校長名	住所	職員室電話番号	障害種別	学級電話番号
あさひ学級 えご花ルーム きこえの教室	みらい青空学園 （小学部）	坂本　司	〒176-0005 旭丘2-40-1	3957-2151	知的障害学級 特別支援教室拠点校 難聴学級	3974-8000 3972-4815
コスモス学級	豊玉第二小学校	坪倉　一雄	〒176-0011 豊玉上2-16-1	3993-0421	知的障害学級	3993-0450
あおぎり学級	開進第二小学校	髙石　直貴	〒176-0002 桜台5-10-5	3993-2425	知的障害学級	3993-2428
すまいる学級	北町小学校	瀧嶋　克己	〒179-0081 北町1-14-11	3932-3296	知的障害学級	3932-3295
かしわ学級 ポプラルーム	練馬第三小学校	石神　徹	〒176-0021 貫井1-36-15	3970-5641	知的障害学級 特別支援教室拠点校	3970-0668
すずしろ学級	練馬東小学校	幅　健司	〒179-0074 春日町1-30-11	3990-9142	知的障害学級	3990-9149
のぞみ学級 ひかりルーム	光が丘春の風小学校	内木　勉	〒179-0072 光が丘7-2-1	3976-5861	知的障害学級 特別支援教室拠点校	3976-6210
わかば学級	光が丘第八小学校	窪田　尚子	〒179-0072 光が丘1-4-１	5997-4828	知的障害学級	5383-8081
わくわく学級	石神井西小学校	高野　博文	〒177-0051 関町北1-1-5	3920-0382	知的障害学級	3920-0378
みつば学級 くりのみ学級	上石神井北小学校	濱中　一	〒177-0045 石神井台5-1-32 （くりのみ学級は 石神井学園内）	3920-1011	知的障害学級 自閉症・情緒障害学級	3920-0999 3996-6720
くすのき学級 やわらぎルーム	谷原小学校	伊藤　雄一	〒177-0032 谷原2-9-26	3997-3271	知的障害学級 特別支援教室拠点校	3997-3228
5　組 いずみルーム ことばの教室	大泉小学校	小髙　敏男	〒178-0063 東大泉4-25-1	3924-0144	知的障害学級 特別支援教室拠点校 言語障害学級	3922-0241 3924-0261
いちょう学級 いずみルーム	大泉第三小学校	髙野　正之	〒178-0061 大泉学園町3-22-1	3925-2466	知的障害学級 特別支援教室拠点校	3925-3222
さくら学級	大泉東小学校	小須田　哲史	〒178-0063 東大泉1-22-1	3922-1355	知的障害学級	3921-2938
ひまわり学級 あおぞらルーム	大泉学園小学校	本橋　教子	〒178-0061 大泉学園町4-7-1	3923-0006	知的障害学級 特別支援教室拠点校	3922-0502
みなみん学級	南田中小学校	菅野　僚	〒177-0035 南田中5-15-37	3997-1145	知的障害学級	3997-1157
みなみルーム	豊玉南小学校	長谷川　修	〒176-0014 豊玉南2-14-1	3993-6425	特別支援教室拠点校	3993-6425
あおば教室	開進第一小学校	海老沼　寛之	〒179-0085 早宮2-1-31	3932-3170	特別支援教室拠点校	3932-3170
つつじルーム ことばの教室	南町小学校	早渕　白輝	〒176-0001 練馬2-7-5	3993-2438	特別支援教室拠点校 言語障害学級	3993-4500
けやきルーム	田柄小学校	小松田　早苗	〒179-0073 田柄2-19-19	3939-0351	特別支援教室拠点校	3939-0351
こぶしルーム	光が丘四季の香小学校	繁田　幸江	〒179-0075 高松5-24-1	3977-2711	特別支援教室拠点校	3977-2711
さわやかルーム きこえとことばの教室	石神井小学校	椿田　克之	〒177-0045 石神井台1-1-25	3997-3277	特別支援教室拠点校 難聴学級 言語障害学級	3997-3279
ふたばルーム	石神井東小学校	武井　和幸	〒177-0035 南田中3-9-1	3997-3312	特別支援教室拠点校	3997-3312
かたくりルーム	関町小学校	横瀬　敬子	〒177-0051 関町北3-23-34	3929-1290	特別支援教室拠点校	3929-1293
ことばの教室	関町北小学校	原田　知樹	〒177-0051 関町北5-13-40	3920-1027	言語障害学級	3594-1231
いずみルーム	大泉第六小学校	檜垣　盛喜	〒178-0064 南大泉5-25-29	3925-2471	特別支援教室拠点校	3925-2471
わかたけルーム	八坂小学校	彌永　英俊	〒179-0076 土支田4-48-1	3922-7625	特別支援教室拠点校	3922-7625
ことばの教室	北町西小学校	風見　由起夫	〒179-0081 北町7-3-8	3932-7234	言語障害学級	3932-7631
目の教室	中村西小学校	工藤　智昭	〒176-0023 中村北4-17-1	3990-4237	弱視学級	3990-4254
D　組	みらい青空学園（中学部）	坂本　司	〒176-0005 旭丘2-40-1	3957-3133	知的障害学級	3955-2424
F　組	中村中学校	井上　春好	〒176-0025 中村南1-32-21	3990-4436	知的障害学級	3990-0990
6　組	練馬中学校	本杉　貴保	〒179-0075 高松1-24-1	3990-5451	知的障害学級	3990-5450
F　組	光が丘第三中学校	榮田　良晃	〒179-0072 光が丘3-2-1	3977-3521	知的障害学級	3977-3733
I　組	石神井中学校	山田　美鈴	〒177-0045 石神井台1-32-1	3997-3131	知的障害学級	3995-2103
E　組	南が丘中学校	金　誠一郎	〒177-0035 南田中4-8-23	3904-5782	知的障害学級	3904-5779
F　組	谷原中学校	鈴木　裕行	〒177-0032 谷原4-10-5	3995-8036	知的障害学級	3995-8074
10　組	大泉中学校	大槻　亨	〒178-0063 東大泉4-27-35	3924-0771	知的障害学級	3924-1003
若草ルーム	豊玉第二中学校	大野　雄一郎	〒176-0012 豊玉北2-24-5	3993-4212	特別支援教室拠点校	3994-1349
よつば	練馬東中学校	荒井　友香	〒179-0074 春日町2-14-22	3998-0231	特別支援教室拠点校	3998-3680
MY STEP UP ROOM	上石神井中学校	蓮池　和彦	〒177-0044 上石神井4-15-27	3920-1126	特別支援教室拠点校	3920-6083
MY STEP UP ROOM	八坂中学校	代市　利光	〒179-0076 土支田4-47-21	3924-0399	特別支援教室拠点校	3923-9826
難聴学級	開進第二中学校	平野　茂	〒176-0001 練馬2-27-28	3993-1348	難聴学級	3993-1350
弱視学級	開進第三中学校	堀　健一	〒176-0002 桜台3-28-1	3993-4265	弱視学級	3993-4265

特別支援学級設置学校配置図



みらい青空学園（中学部）　特別支援学級（D 組）

校長　坂本（さかもと）　司（つかさ）　副校長　伊木（いぎ）　文枝　田崎（たさき）　清文（きよふみ）　中島（なかしま）　裕人（ひろと）　所在地　旭丘２－４０－１

学級数・在籍生徒数（令和８年４月現在）

学級数	生徒数	７年	８年	９年	計
５	男	１２	５	９	２６
	女	５	２	７	１４
	計	１７	７	１６	４０

学級紹介

１　みらい青空学園Ｄ組での学び

特別支援学級の教育課程は、特別支援学校学習指導要領および小・中学校学習指導要領に準じて行うことになっており、一律の教育内容が決まっているわけではありません。そして、その編成については、校長を中心に担当者が話し合い、全教職員の協力・了承を得るものとなっています。

みらい青空学園Ｄ組では、生徒一人一人の障害の程度や学力の実態に応じて、生徒・保護者のニーズや社会の要請を加えながら、適した教育課程を編成しています。

今年度も、基礎・基本の定着を重視しながら、学級の状況、生徒の状況に応じて、柔軟に対応していきたいと考えています。今年度は新１年生が１７名入学し、生徒数４０名、５学級編成（担任７名、非常勤教員１名、学校生活支援員２名）となりました。みらい青空学園Ｄ組では、一斉授業だけでなく、グループ別、学年別での授業も実施します。

２　特色のある授業

一斉授業は、社会、理科、英語、音楽、美術、保健体育、作業、家庭、生活単元学習、日常生活の指導で実施し、集団生活を意識しています。

グループ別授業は、国語・数学で、習熟度別にグループに分けて指導を行います。少人数（７～８人）の落ち着いた学習環境の中で、きめ細やかな学習指導ができるようにしています。「特別の教科道徳」では、７学年と８，９学年の学年別で行います。

総合的な学習の時間においては、行事に向けて一人一人の課題に応じた活動をします。校内での発表会や練馬区立中学校特別支援学級設置校８校合同文化発表会などでその成果を発表します。また、国語の古典の学習として、百人一首の学習を行い、例年、青少年育成桜台地区委員会主催のかるた会に参加しています。

３　さまざまな交流活動

日頃から通常の学級との関わりを進めています。具体的な交流の場として、運動会、修学旅行、音楽祭、その他学年ごとの行事での交流などがあります。お互いの理解を深め、生き生きと明るく生活するために、協力し合うことが大切であることを学んでいます。



また、施設一体型小中一貫教育校として、小学部の特別支援学級（あさひ学級）をはじめとした近隣小学校の特別支援学級との交流も積極的に進めています。

昨年度のあさひ学級と実施した小中合同学習では、小中合同の班編成で３グループに分かれ、体育館でボッチャを行いました。小学生にルールを丁寧に説明をしたり、応援をしたりしてとても盛り上がりました。小学生も非常に満足した様子で、中学生の先輩として立派に役目を果たし、児童たちと交流を深めることができた充実の１日でした。例年、小学生は中学生への憧れや、目標をもち、中学生は自己有用感を高める機会となっています。

中村中学校（Ｆ組）

校長　井上（いのうえ）　春好（はるよし）　　副校長　殿塚（とのづか）　利江（としえ）　　所在地　中村南１－３２－２１

●学級数・在籍生徒数（令和８年４月 現在）

学　級　数	生　徒　数	１年	２年	３年	計
３	男	１０	５	３	１８
	女	１	３	２	６
	計	１１	８	５	２４

～社会性を身に付け自立した生活を目指す～



◎　マナー（挨拶や身なり）、規則正しい生活習慣・道徳心等、社会生活を考え、指導しています。

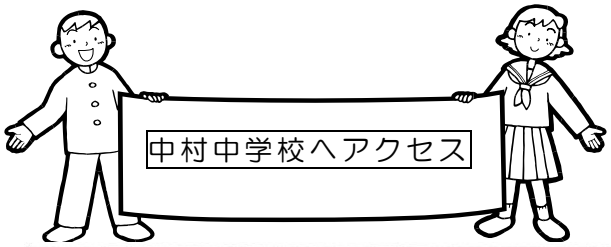
◎　国語・数学は、課題別にグループ学習を行っています。

◎美術・音楽・理科では専門の講師を配置し、教員の専門性を生かしたカリキュラムを組み立てていますので、生徒が授業に興味をもち、楽しみながら学習を進め、学習目標に取り組むことができます。生徒一人一人に合わせ、社会生活に必要な内容を盛り込み学習を進めています。

＜交流活動の推進＞

◎運動会・合唱コンクールは、通常の学級に入って活動をしています。

◎Ｆ組の生徒一人一人に交流学級を定めています。（共生社会を目指して）



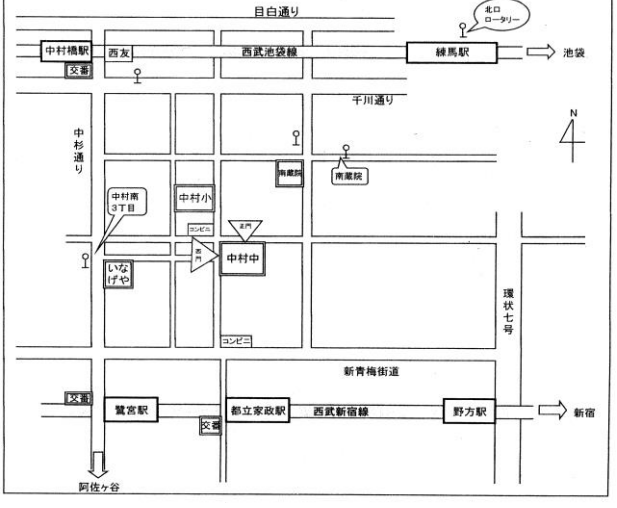
《 交通機関 》

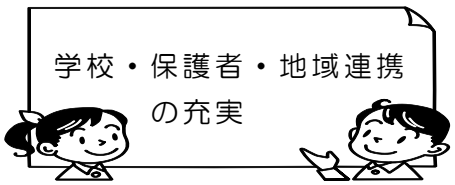
○西武池袋線　中村橋駅から　徒歩　１５分
関東バス　（荻０６・荻０７　荻窪駅　行）　中村南３丁目　下車　５分
関東バス　（阿０１　阿佐谷駅行）　中村南３丁目　下車　５分

○西武池袋線・東京メトロ有楽町線・都営大江戸線
練馬駅から　徒歩　２０分
関東バス　（荻０７　荻窪駅　行）　中村南３丁目　下車　５分
京王帝都バス　（中９２　中野駅　行）　南蔵院　下車　７分

○西武新宿線　都立家政駅から徒歩　８分
鷺宮駅から　徒歩　１５分

○ＪＲ中央線
阿佐谷駅より　関東バス　（阿０１　中村橋駅　行）　中村南３丁目　下車　５分
荻窪駅より　関東バス　（荻０６　中村橋駅　行）　中村南３丁目　下車　５分
関東バス　（荻０７　練馬駅　行）　中村南３丁目　下車　５分





◎学校行事や保護者会等を利用して、生徒の現状や進路について、話を進めています。また、進路選択が多様化していますので、情報収集と十分な話し合いが行えるように工夫しています。

◎地域との関係を深めるために、学校公開をはじめ、地域の方々と共に活動する場面を設定しています。（職場体験・避難拠点訓練等）

◎保護者と学校間では、各生徒の様子が日々分かるように、日課帳を通じて情報交換を行っています。

練馬中学校（６組）

校長名　本杉（もとすぎ）　貴保（たかやす）　　副校長　松井（まつい）　由貴子（ゆきこ）　　所在地　高松１－２４－１号

学級数・在籍生徒数（令和８年４月現在）

学級数	生徒数	１年	２年	３年	計
２	男	４	２	３	９
	女	１	０	２	３
	計	５	２	５	１２

不惜精進　～自主・勤勉・共生～

教育目標

「将来に向けての自立を図るために、社会適応能力を身につけ、自己実現を図る。」

基本方針

① 生徒一人一人が自ら考え主体的に活動ができるよう、基本的な生活習慣の定着を図り、社会的自立の基礎としての生活力を育成する。
② 社会の変化に対応し、自らすすんで学ぶ姿勢と問題解のための基礎的知識、技能、応用力を育成する。
③ 自らの思いや考えを言語や文字で表現し、他者に正確に伝えられる力を育成する。
④ 豊かな心情、健康な身体、健全な社会適応能力を育成する。
⑤ 自己有用感を高めるため、多くの成功体験を味わわせ、努力することの尊さおよび楽しさを実感させる。
⑥ 目的意識をもたせるため、保護者・本人との面談を通して、個別指導計画を作成する。

指導の重点

① 言語活動の活発化
② 他者理解を含むコミュニケーション力の育成
③ 好ましい基本的生活習慣の定着
④ 生涯を通じた健康的な体力
⑤ 主体的に生きる力の育成

これらの目標を達成するために、各教科や行事等で年間を通して繰り返し学習します。

各教科の活動形態

国語	２グループ	（作文発表、スピーチ活動、生徒の実態に応じた基礎学習）
数学		（生活に即した四則計算など）
社会	一斉授業	（地理、歴史、公民分野の学習）
理科	一斉授業	（身近な科学的事象の学習）
英語	一斉授業	（会話表現、英文法、簡単な単語の学習など）
家庭	一斉授業	（作品作り、栄養、調理、裁縫など）
体育	一斉授業	（体力の向上、生涯スポーツへの取り組み）
美術	一斉授業	（デザイン、絵画、アート作品など）
作業	一斉授業	（リサイクル、PC 操作など）
音楽	一斉授業	（歌唱を中心とした表現活動など）

音楽・美術は、主に教科専用の教室で学習をしています。また、各専門委員会や各学年の校外学習、学年集会や学年活動に参加し、通常の学級の生徒と共に活動する機会を設定しています。



光が丘第三中学校（Ｆ組）

校長　栄田（さかえだ）　良晃（よしあき）　　副校長　河合（かわい）　仁（ひとし）　　所在地　光が丘３－２－１

学級数・在籍生徒数（令和８年４月現在）

学級数	生徒数	１年	２年	３年	計
７	男	９	１４	９	３２
	女	７	８	２	１７
	計	１６	２２	１１	４９

一人一人が輝ける学級をめざして

学習




Ｆ組では、将来、自立した生活ができるように実生活に根ざした学習をしています。
国語と数学は、課題別のグループ編成で、個々の課題に取り組んでいます。体育や音楽は一斉授業を行う時間があります。

主な行事



５月の**運動会**では、「台風の目」やクラス対抗リレーに参加しました。大縄跳びにも挑戦しました。



１１月の**八校合同文化発表会**では、「ソーラン節」を光三中生徒全員で披露しました。



３月の卒業式の前に、Ｆ組の**お別れ会**があります。お礼の言葉や感謝の気持ちを心を込めて伝えます。



２月の**スキー移動教室**では、プロのインストラクターさんから教えてもらいました。

部活動紹介　Ｆ組クラブ



レクレーション部は、昨年度から通常学級の生徒も参加できるようになりました。



ものづくり部では、生徒の希望を取り入れて様々な制作を行っています。



球技部では、バドミントンやバスケットボールなどいろいろな球技に取り組んでいます。



園芸部では、畑でたくさんの野菜を育て、収穫し家庭に持ち帰っています。

「Ｆ組クラブ」とはＦ組独自の部活動で、月曜日と木曜日の放課後（15:45～16:30）に活動しています。

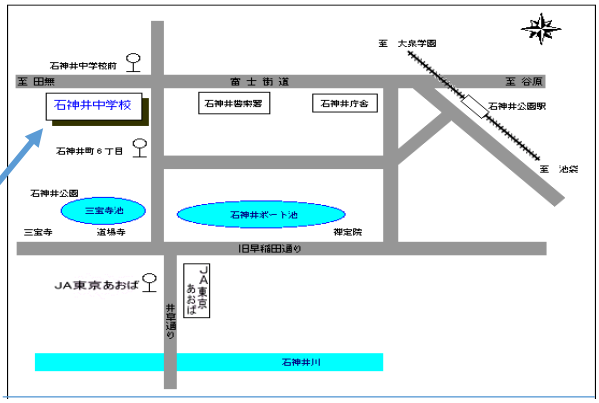
石神井中学校（Ｉ組）（あいぐみ）

校　長　　山田（やまだ）　美鈴（みすず）　　副校長　　前田（まえだ）　健太（けんた）　　所在地　　石神井台１－３２－１

在籍生徒数　　（令和８年４月現在）

	男　子	女　子	合　計
第１学年	６	２	８
第２学年	１３	３	１６
第３学年	１３	４	１７
６学級	３２	９	４１

（アクセス）



西武池袋線石神井公園駅から徒歩１５分！
富士街道をまっすぐ進んで来てください！

多くの仲間と協力・切磋琢磨する環境の中で！

☆石神井中学校Ｉ組の生徒たちは、次の３つを学校生活で頑張っています！☆

◎何事にも一生懸命！（学習も！行事も！）

◎支えられる側から支える側への心の成長と自立！

◎挨拶・笑顔での仲間づくり！（毎日優しい声掛け）

進路指導を充実させ、将来に希望がもてる学習体制の充実

学習面では

☆習熟度別授業展開を実施

生徒の成長段階に合わせた教材を取り入れ取り組むことで、やる気とできた喜びを感じていくことができます。「自分もできる！」という自己肯定感を芽生えさせ、更に挑戦していく向上心を育成しています。また、生徒個々に適した進路指導を実践していくことで、将来に希望をもち、自己実現に向かって努力できる学習環境を大切にしています。

生活面では

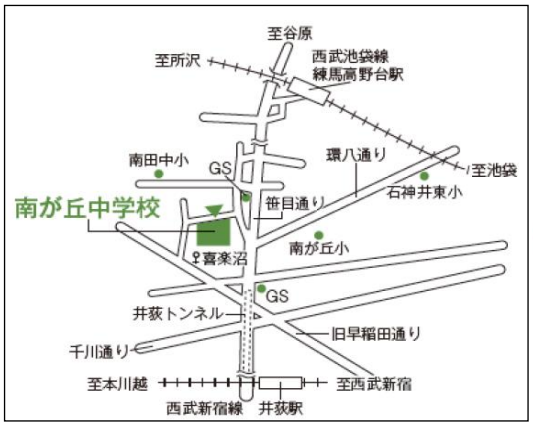
先輩が後輩をサポートする体制が整っています。学校生活を一緒に楽しく、そして規律ある行動ができるように上級生が模範となってくれています。また、支えられる側から支える側への意識改革を行うために、今の自分にできることを実践し、自己肯定感を高めていく指導をしています。更に、身だしなみを意識して清潔感を大切にした生活を心掛け、明るく元気な挨拶がお互いにできる学校生活を目指しています。

南が丘中学校（E 組）

校長　金（こん）　誠一郎（せいいちろう）　　副校長　眞坂（まさか）　明子（あきこ）　　所在地　南田中４－８－２３

学級数・在籍生徒数（令和8年 4月現在）

学級数		1年	2年	3年	計
3	男子	1	9	2	12
	女子	5	2	1	8
	計	6	11	3	20





～アットホームな環境で社会的自立を目指す～

充実した学習環境

１　４つの教室に加え、広い校庭、2つの体育館、畑、花壇、さらに近接するスーパー、図書館等で授業を行います。

２　生徒20人に対して、4人の教員、3人の学校生活支援員、３人の時間講師で生徒を手厚く支援していきます。

３　授業により、グループ別学習を実施しています。
３グループ…国語、数学（習熟度別）
２グループ…職業、家庭、情報、英語
全体授業…体育、音楽、理科、作業、美術、社会、生活単元



規律ある学校生活

１　学校全体で取り組む、あじみこし（**あ**　挨拶、**じ**　時間を守る、**み**　身だしなみを整える、**こ**　言葉遣い・心遣い、**し**　姿勢）の徹底。基本的なことだからこそ、力を入れて指導しています。

２　上級生から下級生へのサポート体制ができています。みんなが楽しく、安全に学校生活を送るために教員だけではなく、上級生たちが模範となっています。

特色のある教育活動

１　ビジョントレーニングの実施。
ビジョントレーニングは、眼の機能を高めるトレーニングで週３回、朝の学習時間に取り組んでいます。文章の読み飛ばしや文字を正確に書き写せないといった課題、運動面では演技などで模範の通りに体を動かすことができないといった課題への効果が期待されます。

２　施設を利用した学習。
近隣のスーパーマーケットを利用した買物学習、郵便局を利用した貯金学習、練馬区立図書館を利用し、公共施設でのマナーなど様々な施設に行き学習しています。

谷原中学校（F 組）

校長　鈴木裕行（すずきひろゆき）　副校長　岩本　伸一（いわもと　しんいち）　所在地　谷原４－10－5

学級数・在籍生徒数（令和８年４月現在）

学級数	生徒数	１年	２年	３年	計
３	男	１	７	６	１４
	女	２	３	４	９
	計	３	１０	１０	２３

谷原中学校　Ｆ組

特別支援学級

★ 谷原中学校Ｆ組は、次の四つの柱で教育活動を行っています。

１　自立の支援

生徒たちが将来、自立した社会生活を送れるように、“自分のことは自分でする”ことを呼びかけています。また、同時に仲間と協力して、活動することの大切さも経験を通して学べるように指導しています。

２　からだづくり

自らの健康に関心をもち、健康管理が自分でできるよう指導しています。睡眠、運動に加え、食育指導も併せて行い、強くてしなやかな身体づくりを目指していきます。

３　基礎学力・技術の充実

まずは、読むことや書くことを中心に基礎学力の充実を図っていきます。さらに、はさみ、のり、穴あけパンチ等の基本的な作業能力を身に付けさせて、各教科の学習活動で応用させながら、自立のための基本技能の伸長を図ります。

４　意欲を育てる

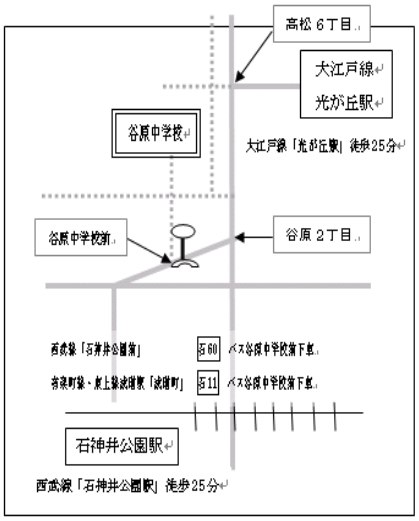
学校生活における様々なことに自分から積極的に関わり、“自分でできた”という経験から自信を付けて、次の意欲につなげていけるように指導しています。

また、通常の学級の生徒と一緒に、生徒会の委員会活動や学校行事の実行委員会にも所属して、リーダー性の向上にも取り組みます。

Ｆ組では、年度初めに学級目標を生徒同士で話し合いながら決めています。

その後、校内の自然豊かな「やはらの杜」を１年生が散策し、落ち葉や枝、木の実などを拾い集めます。それらを材料に、Ｆ組全員で学級目標の文字を形づくり、装飾して掲示します。

自然親しみながら、仲間と協力して一つのものを作り上げる活動です。来校の際には、是非ご覧ください。



大泉中学校（１０組）

校長　大槻（おおつき）　亨（とおる）　　副校長　本田（ほんだ）　敏行（としゆき）　　所在地　東大泉 4-27-35

学級数・在籍生徒数（令和８年４月現在）

学級数	生徒数	１年	２年	３年	計
８	男	１４	１５	１３	４２
	女	７	６	５	１８
	計	２１	２１	１８	６０



１０組の目標

☆身のまわりのことをできる人になろう
☆みんなと仲良くできる人になろう
☆根気よく努力する人になろう
☆仕事のできる人になろう

１　基本的な考え

近い将来の社会的自立に向け、「仲間と集う楽しさ」「学ぶ喜び」を大切にした学習環境作りを目指し取り組んでいます。多人数の学級のよさを生かしてダイナミックに展開する学級全体の授業と、発達段階に合わせた少人数のグループ別学習と学年別の学習を組み合わせた授業を実施しています。また、医療機関や関連する諸機関との連携を図り、学校・家庭を含めた三者の連携を図りながら、日々の指導に生かしていきます。

２　具体的な指導内容

（１）　少人数グループによる指導

生徒の特性を考慮した活動を行うために、個々の特性に対応した少人数グループによる指導を中心に、授業クラスを編成しています。

- 国語、数学 ⇒ ７グループの少人数
- 英語、社会、理科、パソコン、職業、作業、美術⇒ ３～４グループ
- 音楽、体育　⇒ ２グループ
- 日常生活⇒ ６つの縦割りグループ
- 道徳、総合、学活⇒　学年

※１０組への入学を希望される方は、学校選択制度の申し込みを行わないようお願いいたします。

（２）　広い空間を使用した授業展開

１０組の施設や設備、校内の特別教室を利用して、より機能的に教育活動を展開しています。

（３）　コミュニケーションを大切にした指導

一人一人の生徒に適した社会参加を考慮し、コミュニケーションを高める指導を基盤にした教育課程を展開しています。自立活動と校外学習では、班活動を中心に社会生活の体験を重視した様々な活動を行っています。

（４）　通常の学級との交流

運動会や合唱コンクール等の学校行事、修学旅行などで一緒に活動しています。生徒会活動にも委員を選出し、積極的に参加しています。



３　進路先（令和７年度）　進学２１名

都立特別支援学校　：１４名
都立高等学校　　：　２名
私立高等学校　　：　５名

特別支援教室の指導・支援の体制

特別支援教室（マイステップアップルーム）の仕組みとは…

練馬区立中学校には「特別支援教室（マイステップアップルーム）」が設置されており、各中学校で生徒の特性に応じた特別な指導を受けることができます。特別支援教室では、巡回指導教員が拠点とする学校から各中学校に出向き指導を行います。

特別支援教室の指導対象生徒については、保護者との合意等に基づいて、各中学校の校長が申請し、練馬区教育委員会が決定します。

在籍学級



在籍学級担任

連携

巡回指導教員



●生徒の行動観察

指導を受けている生徒だけでなく、学級全体の状況を観察します。

●指導の工夫

必要な配慮や授業での有効な支援方法について助言をします。



在籍学級から
特別支援教室へ

必要に応じて
特別支援教室から
在籍学級へ

＊特別支援教室での指導
＊在籍学級内での支援



特別支援教室



指導



巡回指導教員

●指導時間

対象生徒は週に 1～3 時間程度、校内に設置された特別支援教室へ個別の課題に応じた特別な指導を受けに行きます。

●指導内容

巡回指導教員は在籍学級担任と相談し、生徒の発達の特性に応じた指導を実施します。

特別支援教室での指導を円滑に行うため、特別支援教室専門員を各学校に配置し、臨床発達心理士等による巡回を行います。



特別支援教室専門員

巡回指導教員や特別支援教育コーディネーター、在籍学級担任等との連絡調整および個別の課題に応じた教材の作成、生徒の行動観察や記録を行います。



臨床発達心理士等

生徒の行動観察を行い、発達の特性を把握し、巡回指導教員・在籍学級担任等に指導上の配慮について助言します。

特別支援教室で行う指導とは…

生徒の状態に応じて行う「自立活動」や「特別の指導」です。

生徒にとって困難なこと、苦手なことの例	特別支援教室で行う指導の例
◆コミュニケーションがうまくとれない ◆相手の立場になって考えることが難しい	◆ロールプレイなどを通じて、場に応じた適切な会話ができるようにするための指導
◆集中し続けることが難しい ◆授業中に席を離れてしまったり、質問が終わらないうちに答えてしまったりするなど、他の生徒と同じペースで学習することが難しい	◆提示する情報量を調節しながら、必要な情報を見分けたり、聞き分けたりする力を高めるための指導 ◆順番を守って人の話を聞くなど、ルールに従って行動できるようにするための指導
◆音読が苦手である ◆書くことが苦手である ◆計算が苦手である	◆自分に合った学習方法を習得し、その方法を取り入れて、国語や数学等の学習ができるようにするための指導

特別支援教室の自立活動

特別支援教室では、一人一人の生徒の状態に応じて、自立活動の６区分２７項目の指導内容の中から必要とする指導項目を選んで、個別指導計画を作成して指導します。

また、特別支援教室における自立活動の指導は、個々の生徒の課題への対応中心となりますが、生徒が在籍する通常の学級でのよりよい適応を目指して、ロールプレイなどによる相手と関わる際の具体的な方法を身に付ける指導など、個別指導と併せて少人数によるグループ指導も工夫していきます。

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ
(1)生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。 (2)病気の状態の理解と生活管理に関すること。 (3)身体各部の状態の理解と養護に関すること。 (4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。 (5)健康状態の維持・改善に関すること。	(1)情緒の安定に関すること (2)状況の理解と変化への対応に関すること (3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。	(1)他者とのかかわりの基礎に関すること。 (2)他者の意図や感情の理解に関すること。 (3)自己の理解と行動の調整に関すること。 (4)集団への参加の基礎に関すること。	(1)保有する感覚の活用にすること。 (2)感覚や認知の特性への理解と対応に関すること。 (3)感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。 (4)感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握と状況に応じた行動に関すること。 (5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。	(1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。 (2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活に関すること。 (3)日常生活に必要な基本動作に関すること。 (4)身体の移動能力に関すること。 (5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。	(1)コミュニケーションの基礎的能力に関すること。 (2)言語の受容と表出に関すること。 (3)言語の形成と活用に関すること。 (4)コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。 (5)状況に応じたコミュニケーションに関すること。

〇特別支援教室の導入効果…

- 生徒が他校まで通う負担や、在籍学校での授業の遅れに対する不安が解消されます。
- これまで通級指導学級で行われていた指導を取り入れながら、在籍校で過ごすことで、生徒の学力や在籍学級における集団適応能力の伸長が図られます。
- 在籍学級担任と巡回指導教員との連携が緊密になり、生徒の状況を見ながら、よりきめ細やかな指導が行えます。
- 教職員や保護者が発達障害のある生徒への指導内容を知る機会が増え、障害に対する理解が深まります。

特別支援教室・拠点校

拠　点　校	人数	巡　　回　　校
豊玉第二中	６２	旭丘中　豊玉中　中村中　開進第一中 開進第二中　開進第三中　開進第四中
練馬東中	７８	北町中　練馬中　田柄中　豊渓中　貫井中 光が丘第一中　光が丘第二中　光が丘第三中
上石神井中	101	石神井中　石神井東中　石神井西中　石神井南中 南が丘中　大泉第二中　関中
八坂中	７０	谷原中　三原台中　大泉中　大泉西中　大泉北中 大泉学園中　大泉学園桜

豊玉第二中学校　　特別支援教室拠点校：MY STEP UP ROOM

在籍生徒数（令和８年４月現在）

生 徒 数	１年	２年	３年	計
男	１５	１７	１７	４９
女	４	４	５	１３
計	１９	２１	２２	６２

巡回指導日

月	火	水	木	金
開進二中 開進四中	開進二中 開進三中	拠点校 （豊二中）	旭丘中 中村中	豊玉中 開進一中

練馬東中学校　　特別支援教室拠点校：よつば教室

在籍生徒数（令和８年４月現在）

生 徒 数	１年	２年	３年	計
男	２１	１８	２１	６０
女	５	６	７	１８
計	２６	２４	２８	７８

巡回指導日

月	火	水	木	金
拠点校	北町中 貫井中	田柄中 光三中	光一中 光三中 豊渓中	練馬中 光二中

上石神井中学校　　特別支援教室拠点校：MY STEP UP ROOM

在籍生徒数（令和８年４月現在）

生 徒 数	１年	２年	３年	計
男	３４	２７	２４	８５
女	９	５	２	１６
計	４３	３２	２６	１０１

巡回指導日

月	火	水	木	金
拠点校 大泉第二中 石神井西中	南が丘中 関中	関中 石神井中 石神井東中 石神井西中	石神井中 石神井東中	大泉第二中 石神井南中

八坂中学校　　特別支援教室拠点校：MY STEP UP ROOM

在籍生徒数（令和８年４月現在）

生徒数	１年	２年	３年	合計
男	２５	１６	１０	５１
女	８	５	６	１９
計	３３	２１	１６	７０

巡回指導日

月	火	水	木	金
大泉中 大泉西中 大泉北中	谷原中 大泉学園中 大泉学園桜中	拠点校	谷原中 大泉西中 拠点校	大泉中 三原台中

学校名　開進第二中学校　　学級の名称：難聴学級

校長　平野（ひらの）　茂（しげる）　　副校長　武居（たけい）　裕之（ひろゆき）　　所在地　練馬２－２７－２８

１．学級数・在籍生徒数（令和８年４月現在）

学級数	生徒数	１年	２年	３年	計
１	男	１	３	１	５
	女	５	２	４	１１
	計	６	５	５	１６

２．教育目標

聴覚障害により学習や生活への適応に不安を抱える生徒に対し、障害認識を促すとともに保有聴力を活用しながらコミュニケーション能力の伸長を図ることにより、生徒が意欲的・主体的に取り組み、その能力や適性が十分発揮できるよう指導・支援する。

３．指導の重点（基本方針）

①個の能力やニーズに応じた指導
②通級生徒同士の交流・活動の場となる環境作り
③在籍学級や保護者との連携による協力体制の確立
④他の難聴学級や専門家等との連携による指導法の工夫・改善

４．週時間割（例）

	月	火	水	木	金	時間帯
	打ち合わせ	打ち合わせ	打ち合わせ	打ち合わせ	打ち合わせ	
１	教室会議	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	8:50～ 9:40
２	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	9:50～10:40
３	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	10:50～11:40
４	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	11:50～12:40
給食・昼休						12:40～13:25
５	自立活動	（研究会）	教室会議	自立活動	自立活動	13:30～14:20
６	自立活動	（研究会）		自立活動	教室会議	14:30～15:20
	自立活動	（自立活動）	自立活動	自立活動	自立活動	
	自立活動 個別	（自立活動） （個別）	グループ・個別	自立活動 グループ・個別	自立活動 個別	15:45～16:45

５．主な年間行事

・新入生歓迎会（４月）　・難聴学級見学会（７月）　・講演会（８月）
・難聴学級小中交流会（10月）　・卒業を祝う会（３月）

６．電　話

職員室（３９９３）１３４８　　学校ＦＡＸ（５９８４）２７３０　　事務室　（３９９３）１３４９
学　級（３９９３）１３５０　　学級ＦＡＸ（３９９３）１３５０

私たちの学級は・・・

きこえにくさのある中学生が、学校生活や教科学習に自信をもって取り組めるように支援する学級です。

通級の方法　　**校内通級と校外通級があります**

校内通級☞開進第二中学校に在籍して、校内にある難聴学級に通う方法。

校外通級☞開進第二中学校以外の中学校に在籍して、難聴学級に通う方法。

（保護者の付き添いは要りません）

学習の内容　　**個別やグループの形態で自立活動の学習をします**

自立活動☛言語にかかわる学習を中心に、生徒の実態に応じて言語力・理解力の伸長や語彙の拡充を目指して行う活動です。

☛生徒が意欲的に学校生活を過ごし、将来自信をもって自立できることを目指して行う活動です。

☆**情報保障**　校内通級生は主に社会科の授業で、モバイル型遠隔情報保障を行います。式典等では、現地入力情報保障によるスクリーン字幕投影を行います。

☆**障害理解**　校内で聴覚障害理解の授業を行っています。必要に応じて校外でも出前授業を行います。

●主なグループ活動●

新入生歓迎会、難聴学級見学会、講演会、
進路学習、小中交流会、きこえの学習、
入試体験報告会、卒業を祝う会　など

●最近の進路先●

都立高校、私立高校、都立ろう学校



学校名　開進第三中学校　　学級の名称：弱視学級

校長　堀（ほり）　健一（けんいち）　　副校長　志村（しむら）　修（おさむ）　　所在地　桜台３－２８－１

１．学級数・在籍生徒数（令和８年４月現在）

学級数	生徒数	１年	２年	３年	計
１	男	１	１	０	２
	女	１	０	０	１
	計	２	１	０	３

２．教育目標

・自分のことを知ろう

・自分に合った方法を探そう

・将来を意識して、主体的に考え、行動しよう

３．指導の重点（基本方針）

・生徒一人一人に合わせた指導と支援

・通級生同士の交流や活動

・保護者や在籍学級、在籍学校との連携

・他の弱視学級や専門家等との連携

４．週時間割

・個 別 指 導 ：生徒の実態に応じて、週１～２回（約２～５時間）

・グループ指導：月に１回、水曜日午後

５．主な年間行事

① 三者面談

② 弱視学級保護者会

③ 小中合同学習会

④ 弱視学級説明会（小学生対象）

６．電　話

職員室　（３９９３）４２６５　　事務室（３９９３）４２６７　　ＦＡＸ　（５９８４）３０３６

弱視学級では



傾斜机・書見台
いい姿勢で読み書きができます。

単眼鏡
遠くを見るレンズで黒板を見て書き写します。



ｉＰａｄ
ＰＤＦ版拡大図書の利用、補助具の代替もできます。



近用レンズ
近くを見ます。

拡大読書器
本などの文字をＴＶ画面に拡大して映し出す機器です。



他にも、拡大教科書、遮光眼鏡、スポーツゴーグル、白杖　など、様々な物を活用しています。

《こんなことでお困りではありませんか》

- 極端に目を近づけて本やテレビを見る。
- 画数の多い漢字や、細かい目盛り、地図などを見るのが大変疲れる。
- 本を読むとき、行をとばしたり、読み間違えたりする。
- 階段や暗い所（雨の日、夜など）でつまずきやすい。
- ボール運動で、ボールがどこから飛んでくるかわからない。

見やすくする工夫や、よく見る練習をすることで、生活や学習の様子がずいぶん変わってきます。

弱視学級では、

将来の自立に向けて必要な力

を身に付けるサポートをします。



最寄駅	地下鉄有楽町線	氷川台駅	徒歩	５分
	西武有楽町線	新桜台駅	徒歩	１０分
	西武池袋線	桜台駅	徒歩	１５分

近隣の国・公・私立特別支援学校一覧

種別	学校名	所在地	電話	区分
視覚	都立久我山青光学園	〒157-0061 世田谷区北烏山4-37-1	03-3300-6235	幼・小・中
	都立文京盲学校	〒112-0004 文京区後楽1-7-6	03-3811-5714	高
	筑波大学附属視覚特別支援学校	〒112-0015 文京区目白台3-27-6	03-3943-5421	幼・小・中 高・専
聴覚	都立大塚ろう学校	〒170-0002 豊島区巣鴨4-20-8	03-3918-3347	幼・小
	都立中央ろう学校	〒168-0073 杉並区下高井戸2-22-10	03-5301-3034	中・高
肢体	都立大泉特別支援学校	〒178-0061 練馬区大泉学園町9-3-1	03-3921-1381	小・中・高
	都立北特別支援学校	〒114-0033 北区十条台1-1-1	03-3906-2321	小・中・高
	筑波大学附属桐が丘特別支援学校	〒173-0037 板橋区小茂根2-1-12	03-3958-0181	小・中・高
知的	都立高島特別支援学校	〒175-0082 板橋区高島平3-7-2	03-3938-0415	小・中
	都立石神井特別支援学校	〒177-0045 練馬区石神井台8-20-35	03-3929-0012	小・中
	都立板橋特別支援学校	〒175-0082 板橋区高島平9-23-22	03-5398-1221	高
	都立練馬特別支援学校	〒179-0075 練馬区高松6-17-1	03-5393-3524	高
	筑波大学附属大塚特別支援学校	〒112-0003 文京区春日1-5-5	03-3813-5569	幼・小・中 高
	東京学芸大学附属特別支援学校	〒203-0004 東久留米市氷川台1-61	042-471-5274	幼・小・中 高
	私立旭出学園	〒178-0063 練馬区東大泉7-12-16	03-3922-4134	幼・小・中 高・専
知的 肢体 併設	都立永福学園	〒168-0064 杉並区永福1-7-28	03-3323-1380	高(知的) 小・中・高 (肢体)
	都立志村学園	〒174-0045 板橋区西台1-41-10	03-3931-2323	高(知的) 小・中・高 (肢体)

練馬区教育委員会　事務局
教育振興部　教育福祉課
就学相談係　　電話　５９８４－５６６４（直通）